

発達心理学

[講義] 第2学年～第3学年 後期 選択 2単位

《担当者名》○金山裕望 (心理科学部 kaneyama@hoku-i-ryo-u.ac.jp)
大倉雄一 (非常勤講師)

【概要】

人の発達成人になって終わるわけではない。本講義では、大人への移行期である青年期から人生の終わりまでの発達について論じる。青年期以降では、人の成達は社会・文化・歴史との絡み合いを避けて通ることができず、その中で、発達上の問題も生じる。また、大人の成達は、家族形成や労働を通じて、次世代育成が大きな課題となり、子どもを含む次世代の成達と重層的に論じる必要がある。人の成達を幅広い視点で捉え、現実の問題解決につながる発達の視点の獲得を目指す。

【学修目標】

青年期以降の発達の特徴を把握する。
青年期以降の成達を社会・文化・歴史の中でとらえる視点を身につける。
現実の問題を発達の視点から論じることができる。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【ディプロマポリシー（学位授与方針）との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

【実務経験】

金山 裕望（公認心理師）、大倉 雄一（公認心理師）

【実務経験を活かした教育内容】

公認心理師としての臨床・研究・社会的貢献の成果を反映させた講義内容となっている。